

令和3年11月17日

報道機関各位

熊本大学  
高知県立牧野植物園

熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センターと高知県立牧野植物園が連携協定を締結します。

12月6日（月）午前9時30分から調印式および記念シンポジウム開催のご案内

令和3年12月6日、熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センターと高知県立牧野植物園は、植物の有用性とその利活用に関する包括的研究を積極的・効果的に推し進めるため、連携協定を締結します。

つきましては、下記のとおり調印式および記念シンポジウムを開催しますので、当日の取材方よろしくお願いいたします。

#### 記

- (1) 日 時 令和3年12月6日（月）午前 9時30分より調印式  
午前10時30分より記念シンポジウム
- (2) 会 場 熊本大学大江地区 産業イノベーションラボラトリー1階セミナー室  
(熊本市中央区大江本町5番1号)
- (3) 出席者 熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センター長  
三隅 将吾 (みすみ しょうご)  
高知県立牧野植物園長兼公益財団法人高知県牧野記念財団理事長  
川原 信夫 (かわはら のぶお)

#### (4) 協定の概要

高知県立牧野植物園は昭和33年4月に日本植物分類学の父、牧野富太郎博士の業績を顕彰することを目的に開園、平成11年に園地面積を拡張し、植物展示、教育普及、研究の機能を備えた総合植物園としてリニューアルオープンした植物園である。野生植物及び栽培植物の調査研究や栽培保存等を行うとともに、植物多様性研究によって得られた基礎資料にもとづき、植物の新たな有効利用法を見出す植物資源探索研究を推進している。

一方、熊本大学大学院生命科学研究部附属グローバル天然物科学研究センターは、“世界中の天然物資源を基盤として画期的な新薬、機能性食品や化粧品素材を開発し、国民

の命と健康を守る”というミッションを果たすべく、アカデミアの強みを最大限に利用して得られるグローバルな研究連携体制を活用した天然物創薬プロジェクトを推進している。

本協定は、両者による緊密な連携と協力のもと、植物の有用性とその利活用に関する包括的研究を積極的・効果的に推し進めるため、組織間の連携関係を明確化し、そのさらなる推進と円滑化を図るものである。

**【お問い合わせ先】**

熊本大学 生命科学系事務課 薬学系事務室 総務担当

TEL:096-371-4651 E-mail:sky-somu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

高知県立牧野植物園 植物研究課 藤川和美

TEL:088-882-2601 E-mail:saussure@makino.or.jp

